

竹松の風



大村市立竹松小学校 学校だより
令和8年度第2号 (R8. 4. 14)
文責：校長 牛嶋 理孝

165名の新入生がデビュー 竹松っ子1049名が勢揃い！



4月9日、柔らかな緑と鮮やかな彩りが新しい始まりを感じさせる中、令和8年度竹松小学校入学式を執り行いました。

多くの御来賓や保護者の皆様、そして、6年生の温かい拍手とまなざしに包まれ、新入生は安心して小学校生活の第一歩を踏み出すことができました。

【式辞から】

1年生のみなさん。ご入学、おめでとうございます。みなさんがこの体育館に入場するときに流れていた曲は「1年生になったら」でした。『1年生になったら、1年生になったら、友達100人できるかな』。ほんとうに、お友達を100人もつくることができるのでしょうか。

できます。この竹松小学校ならできます。全校児童1049名。100人どころか、その気になれば、200人でも300人でも、お友達をつくることができます。

ここで、たくさんのお友達をつくるための魔法のじゅ文を、校長先生が教えます。それは「ありがとう」と「ごめんなさい」という二つのじゅ文です。

誰かに「大丈夫」と声をかけられたとき、また、「がんばろう」と励まされたとき。「ありがとう」そうじゅ文を唱え、お友達が、どんどん増えていきます。

また、誰かを悲しませてしまったとき、あるいは、怒らせてしまったとき、「ごめんなさい」そうじゅ文を唱え、きっと相手が笑顔になって、すぐに仲直りができます。

1年生のみなさん。「ありがとう」と「ごめんなさい」。この二つのじゅ文を大切にして、たくさんの友達をつくっていきましょう。

【歓迎の言葉から／児童代表：■■■■さん】

1年生のみなさん。はじめまして。わたしたちは、これから一緒に1年間を過ごす6年生です。みなさんは、これからの新しい生活に緊張していると思いますが、小学校では楽しいことがたくさんあります。みんなと楽しく遊ぶ遠足や、みんなと協力する運動会などがあります。勉強が難しいときがあるかもしれませんが、困ったときには6年生がいるので何でも聞いてください。

たくさんのお友達をつくって、楽しく過ごしましょう。

全ての生活場面が 子供たちの学びの場

この3月の卒業式。次のような卒業生の言葉がありました。

「意見がぶつかり、気まづくなった休み時間。それでも次のチャイムが鳴れば、また一緒に笑い合えました。最高の時間を共に過ごした大切な友達」
子供は暮らしの中で育ちます。学校ばかりでなく、全ての生活の場面が、子供たちの学びの場となります。楽しいことばかりではありません。悩んだり、悲しい思いをすることもたくさんあります。

もちろん子供だけでは乗り越えられないような大きな障害は、我々大人が取り除かなければなりません。しかし、何とか子供の力だけで乗り越えられそうときは、保護者の皆様と学校と一緒に、そっと後ろから見守りたいと思います。

バランスのとれた成功体験と失敗体験の積み重ねが、子供の心の根を伸ばし、強い幹を育て、個性豊かな花を咲かせます。

保護者の皆様や地域の方々から子供たちに託す思いに、学校の思いを重ねながら、安全に安心して学べる教育環境づくりに努めていきます。

授業参観 お待ちしています



4月15日(水)13:30～ 高学年授業参観・懇談会
4月16日(木)13:30～ 中学年授業参観・懇談会
4月17日(金)13:30～ 低学年授業参観・懇談会
4月22日(水)13:30～ 特別支援学級授業参観・懇談会
※徒歩でのご来校にご協力ください。